

## 税の使い道

所沢市立上山口中学校

三年 遠藤 春緋

私は、世界の人々が幸せに安全に暮らすために税は必要だと思えます。

税には色々な種類があるが、その全てが国のために使われています。その例として、学校や道の工事、医療、子育てなど身近なものにも使われています。税があることで、子供の医療費がかからなかったり、子育てで会社を休んだり、ゴミの処理をしたりすることが出来ます。税は、環境にも役立つています。

今、日本では少子高齢化が進んでいて若い人たちの税の負担が増えていきます。その対策として、3人目の子供を産むと税金がもらえる仕組みがありますが、私の考えではお金が少なく「じゃあ、3人目つくろう。」と思う人は少ないと思います。そのため、税をもっと子供のために使うべきだと思います。このまま少子高齢化が進み続ければ、税が増えていき、苦しい思いをする人が増えるのではないかと考えました。少子高齢化の対策では、もっと子供を産みたいと思ってももらえるように税を使うべきだと思います。

私は最近、たばこでの病気が多いというのを聞いた事があります。日本でたばこを吸っている人は沢山いるため、たばこの値段をもっと高くする事でお金も集まるし、高くてやめた人達が健康になることで医療費にかかるお金を減らせると思いまし

た。

それと、私たちも税金を払うことで、自分たちの地域の役に立てると考えました。

世界的に物価が上がっているのもあり、輸入にたよっている日本には、大変なことだと思いました。なので、日本での生産量を増やしたり各家庭で野菜を育てたり、地産地消を意識し、生活することで、食品ロスも減り、輸入量も減らせると思いました。これも、対策の一つだと私は考えます。理由は、輸入に限らず、国中での出費が国の収入よりも少ないと感じたからです。

私は、税のことを調べてみて知らないことだったり、表面しか知らなかったりしたことが沢山ありました。そのため、今後の生活では、何に税が使われているかを考え、色々なことに感謝して、過ごしたいと思いました。自分たちに出来ることは、小さなことでもやっていきたいと思いました。